

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市歴史博物館		
課 名	歴史文化課		
指定管理者名	公益財団法人静岡市文化振興財団		
指定期間	令和4年7月23日 ～ 令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年5月29日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 前島 将人（歴史文化課駿府城エリア活性化担当課長） ②委 員 安藤 雅之（常葉大学大学院 学校教育研究科 教授） ③ “ 岩崎 昌登（するが企画観光局 事務局次長） ④ “ 相羽 勝裕（文化政策課長） ⑤ “ 村松 昇 （緑地政策課長）		
評価点 (各委員平均点)	88.6点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	施設の設置目的・運営方針、博物館の役割を理解し、事業計画書や業務仕様書に基づいた適切な管理運営に努めている。 学芸員の専門性や指定管理者のネットワークを活かした多彩な事業を展開し、固定客の獲得に加えて幅広い層へアプローチすることで、令和7年度は前年度よりも多くの入館者数を獲得することができており、指定管理者による良好な施設運営がなされてきたことがうかがえる。 また、利用者満足度調査においては、回答数が年々増加しているとともに、いずれの年も満足と回答した割合が前年度を上回る結果となっている。来館者のニーズを踏まえた展示内容の工夫や館内設備・案内、職員の接遇等の改善に努めた結果が満足度の向上につながっていると評価できる。 本市の歴史的資料の調査研究実施件数においては、各年度とも仕様書に定める件数を大きく上回るとともに、関係機関との共同研究や資料収集を積極的に推進しその成果を展示内容に反映している。今後も静岡市固有の歴史に関する調査研究の深化、充実に		

	加えて、市内の文化資源・文化施設等との更なる連携強化を期待する。 教育普及活動においても、多彩な学校機関との連携や講座の実施により多様な主体を対象とした学習機会の提供が図られており、市の歴史に対する関心の醸成に大いに寄与している。特に、学校連携においては、カリキュラムと連動した博物館利用を促す手引きを作成・公開するなど、教育現場に寄り添った事業展開をしており、教育普及活動に対する指定管理者の工夫と積極的な姿勢がうかがえる。 観光交流の側面からは、企画展と連動した展示による関連史跡等への現地訪問機会の創出や、「しづれきガイドツアー」に代表される歴史スポットを巡るツアーの実施など駿府城公園や周辺施設、市内の歴史スポット等への回遊促進が図られている。引き続き、周辺施設との連携を強めるとともに、企業など多様な主体と連携することで、市内観光資源等の魅力発信に努めてほしい。 当該博物館施設の運営は、指定管理者の創意工夫により概ね良好であることがうかがえるため、今後は多様な施設、団体、企業等との連携による活動の強化を期待したい。
--	--

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市歴史博物館] 課名 [歴史文化課]
 指定管理者名 [公益財団法人静岡市文化振興財団]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 施設の設置目的・運営方針等を理解した運営が行われた。(15点)	13	14	14	13	14	13.6
(イ) 事業計画書等を示された事業が予定どおり、円滑に実施された。(10点)	9	8	9	8	9	8.6
(ウ) 施設の保守点管理・点検点清掃等が適切に実施された。(5点)	5	5	5	4	4	4.6
(エ) 収支状況において、概ね予算のとおりに執行された。(5点)	4	5	5	4	4	4.4
(オ) 利用者が安心、快適に利用できるよう、適切な対応がなされた。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
(カ) 災害・事故発生時に迅速な対応がとれる危機管理体制が整備された。(5点)	5	4	5	4	4	4.4
(キ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
小 計	46	44	48	41	45	44.8
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者の持つ経験・専門性を活かした事業を企画・実施した。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
(イ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、他機関との協働店連携等に積極的に取り組んだ。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
(ウ) 市内外に積極的かつ効果的な情報発信が行われた。(5点)	4	4	5	4	5	4.4
小 計	14	12	15	12	15	13.6
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。(10点)	9	9	10	9	9	9.2
(イ) 職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情に速やかに対応した。(5点)	5	5	4	4	5	4.6
小 計	14	14	14	13	14	13.8

4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 本市の歴史的資料の調査研究を行い、その成果を展示等の事業に活かした。(6点)	5	4	6	5	5	5
(イ) 教育普及活動等を通じて、幅広い年齢層に本市の歴史に対する関心を高める機会を提供した。(6点)	5	4	6	4	5	4.8
(ウ) 市内の歴史的資源への回遊促進及び駿府城公園エリアの賑わいの創出に取り組んだ。(8点)	6	6	7	7	7	6.6
小 計	16	14	19	16	17	16.4
合 計	90	84	96	82	91	88.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・事業を無料（実費負担以外）で実施しているが、有料化も検討すべきでは。（稼げるコンテンツは充実している） ・学芸員はかなりの事業数をこなしているが、講座・トーク等で外部講師を招くなど負担軽減を。 ・満足度が年々上昇しているのは評価できる。 ・概ね良好な運営がなされている。今後も博物館の設置目的を理解し、指定管理者の持つ専門性を最大限に活かした運営に期待する。
【B評価委員】
・設置目的、運営方針に基づき指定管理者に課せられた使命を果たすべく適切かつ安定した運営と工夫した質の高い事業が行われている。 ・調査研究成果を活かした事業が展開されている。 ・地域を再発見できるような地域に根差した企業事業をさらに期待する。 ・アンケート結果から来館者のニーズを踏まえた展示内容の工夫や事業実施、さらには適切な利用者への対応により満足度の向上につながっている。一層、案内のみやすさ、解説のわかりやすさに努めて頂きたい。 ・市内固有の歴史史料の掘りおこしと調査研究の深化、充実を期待する。また、市内の自慢（誇り）となる歴史、文化等施設等との連携強化を期待する。 ・教育普及事業として「駿府城跡」との連携事業の推進。 ・幼児期から歴史への関心を高める「体験コーナー」の設置。 ・市民が調査研究するスペースや場の充実。 ・市民が気軽に足を運べる施設に！（観光ではなく、市民の学びの場としての魅力強化） →学びのプラットホームに!!（生涯学習センター等との連携強化）
【C評価委員】
・当初は目標に届かない年度もあったが、直近は目標を達成しており、適切な運営が継続的に行われている。 ・様々なネットワークやノウハウを活かし、効率的かつ効果的な情報発信が行われ露出実績も着実に伸びている。 ・利用者満足度が年々高まっており、特にR7の回答数が飛躍的に増えている中での実績なので高く評価できる。 ・調査研究においては、仕様書に定めている件数以上に実施され、教育普及活動や回遊促進、賑わい創出に積極的に取り組んでいる。 ・当施設の設置目的や運営方針を十分に理解し、仕様書に定められている内容以上に積極的かつ能動的に運営されていると感じる。
【D評価委員】
・博物館機能を高め、利用者満足度の目標を大きく上回ることができたのは、市の方針を十分に理解し、事業に取り組んだことが伺える。 ・研究の成果の反映は専門性の発揮、多彩な団体ネットワーク連携は新たな階層の獲得につながるなど創意の積極性が伺える。 ・利用者満足度が上昇している（サンプル数が増加しても）ことは、来館者ニーズに見合う業務執行ができていると伺える。 ・多様な催事を資源と捉え、駿府城エリア～中心市街地まで、流動性や回遊性に貢献したと理解できる。

・各項目において、十分に機能発揮できている。更なる発展の期待として民間とのタイアップ（一定の投融資を得て、企画展のネーミングライツや歴史教育と職業体験のマッチングなど）を挙げる。

【E評価委員】

- ・事業計画書に基づき計画していた事業を確実に実施し、質の高い運営ができている。
- ・目標としていた入館者数も概ね満足しており、満足度も高い点は評価できる。
- ・学芸員トーク、歴史ガイドツアーなど、学芸員の知見を活かしたイベントを数多く実施し、人気も高い。
- ・メディア、SNSでの情報提供を積極的に行っており、リピーターの確保につなげている。
- ・満足度は年々向上しており、R7の96%は非常に高い満足度である。
- ・利用者の意見の把握に努めており、それに対応できている。
- ・学校見学の受入、高校大学連携など、幅広い年齢層へのアプローチを行っている。
- ・スタンプラリー、セット券など回遊性向上、賑わい創出につなげた。
- ・入館者数は令和6年度に落ち込んだものの、令和7年度の入館者数は増やすことができた。満足度も令和4年度から、年々向上しており、お客様対応や企画展の改善が活かされている。

評価委員会としての意見

施設の設置目的や運営方針を十分に理解した運営ができている。
来館者ニーズを意識しながら、学芸員の専門性や指定管理者の持つ様々なネットワーク・ノウハウを活かした多彩な事業に取り組み、工夫を凝らすことで、リピーターを含む入館者の獲得や満足度の向上につなげている。この点は、指定管理者の博物館運営に対する努力の賜物であると評価できる。
今後は、引き続き指定管理者の専門性を最大限に活かした事業運営による利用者サービスの向上を目指すとともに、現在実施している様々なコンテンツの有料化の検討や、企業等民間連携の強化、駿府城エリアを含む静岡市内の文化資源や文化施設等との連携による更なる相乗効果を期待する。